

日本社会福祉学会事務局から

◆会費の納入はお早めをお願いします

平素より学会活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

皆様、2019年度の年会費のご納入はお済みでしょうか。皆様からお納めいただきました年会費は、学会活動を支える貴重な財源となりますので、未納の方は至急お納めくださいますようお願いいたします。

また、2017年度の年会費が未納の方は、『社会福祉学』の送付を一時停止させていたしております。会費納入が確認されましたら学会誌を発送いたしますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

これから納入される方で、銀行振込みによるご入金をお考えの方は、確実に個人を確定できますようお名前の前に会員番号を入力してください。また、大学等のご所属先を通じてお振込みをされる場合は、ご所属先の経理担当者の方から、どなたの年会費であるかを本学会事務局あてにメールまたはFAXにてご連絡いただくようご依頼ください。

◆登録情報更新のお願い

お引越しや所属先の異動等により登録情報に変更のあった方は、学会ホームページの会員専用ページ「マイページ」より、以下の手続きが可能ですので、どうぞご活用ください。

- ①登録内容の確認・変更、②パスワードの変更、③会費納入状況の確認、
- ④会員名簿検索

◆メールアドレス登録のお願い

本学会では会員の皆様への連絡手段としてメール配信を利用しています。メールアドレスの登録をされていない方は、メールアドレスの登録にご協力くださいますようお願いいたします。現在、メールアドレスを登録されていない方で、メールアドレスの登録にご協力いただける方は、学会事務局<office@jssw.jp>までご連絡ください。

また、会員専用ページ「マイページ」にログインされる際のパスワードをお忘れの場合、会員番号と登録されたメールアドレスによりWEB上でパスワード照会が可能です。ぜひ一度ご確認ください。

編集後記

学会ニュース 82 号をお届けします。

今号は、第 67 回秋季大会の報告がメインテーマです。大分大学にて「共生社会の構築に向けて～自立と多様性の共存」というテーマのもと、国立大学で初めて開催されました。あいにく、北上する台風 17 号の規模や進路等から、9 月 22 日の帰りの飛行機の確保が難しいと判断され、二日目のプログラムの中止が直前の理事会で決定されました。それでも、地元の大会実行委員会及び本学会の大会運営委員会のご準備のおかげで、大会校シンポジウム「自立は社会福祉の規範たり得るか～存在の多様性を支える論理とは」や、若手研究者のためのワークショップ「スタートアップ・ワークショップ」等、充実した大会一日目のプログラムが実施された様子が報告されています。

この大会後も、10 月中旬には台風 19 号が発生し、70 以上の河川が氾濫し、その後の大雨によっても、全国各地に甚大な被害がもたされました。各地で災害ボランティアセンターが開設され、10 月下旬になってもボランティア募集がなされています。被害に遭われた地域の方々には心よりお悔やみ申し上げますとともに、一日も早い安心・安全な生活の回復を願います。

「名誉会員の推挙に寄せて」では、大友信勝名誉会員及び大橋謙策名誉会員のお二人から重厚なメッセージが届けられました。また、「学会賞受賞」では、単著部門の学術賞及び論文部門の奨励賞を受賞されたお二人の会員から喜びの声が寄せられています。

今年度からの新シリーズ『社会福祉学の未来への視座』第 4 回では、近藤克則氏より、

「健康格差社会」という課題に対し、社会課題の発見から改善にいたるまでの 8 つの段階の中で、社会福祉学研究者（また社会福祉学の研究）がどのように貢献できるか（あるいは、すべきか）について、激励と貴重な示唆をいただきました。

各ブロックからの報告としては、関西ブロックから「人口減少社会と社会福祉」をテーマにした研究大会の開催や、若手研究者・院生情報交換会の様子が報告されています。また、中国・四国地方からは「福祉人材確保問題」をテーマにした研究会やブロック会議の熱心な取り組みが報告されています。

広報委員会は、関係する他の委員会と協働しながら、学会のホームページのモバイル化やリニューアルに向けての作業をすすめています。引き続き、学会員の皆様のニーズに応え、必要な情報を迅速にお届けすることに努め、関連学会や社会への発信力を高めてまいりたいと思います。皆様のご意見やアイデアを、ぜひお寄せください。

福島喜代子（ルーテル学院大学）